

日本選挙学会 2002年度第2回理事会議事録

日 時：平成14年10月12日（土） 午後3時～
場 所：慶應義塾大学三田キャンパス 東館6F会議室

議 題：
（前回議事録の回覧）

1. 理事長挨拶及び提案事項

- ・小林良彰理事長（慶應義塾大学）より挨拶があった。
- ・2004年度大会運営委員長候補のステーブン・リード会員（中央大学）の理事会へのオブザーバー参加が提案され、承認された。

2. 各委員会の活動状況について（各委員長）

企画委員会

a) 神江委員会

- ・神江委員長より、2003年度研究会の企画案について報告があった。
- ・報告用論文集のCD-ROM化について提案があったが、次回研究会は従来通り、印刷物を販売し、CD-ROM化は今後も検討することとした。

< 企画委員会報告書類より抜粋 >

・ポスターセッション

11件の応募を全て受理。11月末頃を期限として再募集することを検討。

台湾研究者2名よりポスターセッションの応募があったが、社会心理部会が部会報告として採用。ただし、2名のうち1名は非学会員であるため、もう一方の学会員が代表して報告を行うよう提案することとした。

・2003年度研究会企画案（タイトルは仮）

5月17日（土）

午前 社会心理：ネット利用層と選挙

制 度：並立制の評価と課題 制度の国際比較

議 会：議会制度の理論と実証

午後 法 律：1990年代アメリカのゲリマンダリング

地 方：地方選挙の分析（事例研究・地域間比較）

比 較：ヨーロッパ議会選挙の比較分析

午後 共通論題：1990年代アメリカの（議会）選挙

5月18日（日）

午前 国 政：並立制下の投票行動

理 論：未定

歴 史：（初期帝国議会期における）地方選挙に対する史的考察

午後 ポスターセッション

午後 地 方：統一地方選の意義と課題

方法論：投票行動分析に対する新たな統計的手法の適用

b) 河野委員会

- ・河野委員長は欠席したが、事前に事務局に提出された8名の企画委員リスト案が承認された。

浅野和夫（平成国際大学）、石生義人（国際基督教大学）、河田潤一（大阪大

学)、小林秀高(東海大学大学院)、名取良太(関西大学)、真柄秀子(早稲田大学)、安野智子(中央大学)、スティーブン・リット(中央大学)

年報編集委員会

- ・加藤委員長より、編集委員会・委員長の任期が2年から1年に短縮されたことによる問題点(年報の編集期間の不足)が指摘された。委員長の任期や選任の時期の変更は編集委員会に関する規程の変更を要するため、次回12月の理事会で討議する他、来年度5月の総会に報告する旨、理事長より提案があった。
- ・年報発行に対する科研費助成の申請書作成について、事務局に委嘱され、河崎幹事が担当することになった。

文献委員会

- ・藤井委員長が欠席のため、岩崎正洋委員から進行状況について代わって報告があった。

選挙管理委員会

- ・和田委員長より報告があった。

3. 2002年度総会・研究会の総括について(前大会運営委員長)

- ・蒲島前委員長に代わって今井幹事から、収支が若干の黒字になった等、総会・研究会の運営は成功であったことが報告された。の等

4. 2003年度総会・研究会の開催について(新大会運営委員長)

- ・河村大会運営委員長より、研究会開催予定地、学会開催補助の申請について報告があった。

5. 入会申し込み者・退会希望者の承認について

入会申し込みについて

- ・以下の14名の入会を承認した。

上ノ原秀晃(東京大学大学院)、逢坂巖(東京大学大学院)、近藤則夫(日本貿易振興会アジア経済研究所)、佐々木信夫(中央大学)、真田允稔(平成国際大学)、高崎明(早稲田大学大学院)、竹中佳彦(北九州市立大学)、堀田学(早稲田大学大学院)、游清金(国立政治大学)、劉義周(国立政治大学)、陳義彦(国立政治大学)、盛杏媛(国立政治大学)、陳陸輝(国立政治大学)、鄭夙芬(国立政治大学)、

退会について

- ・以下の1名の自己都合による2002年度末での退会を承認した。
清水勘次

現在会員数について

- ・上記の異動によって、現在の会員数は532名(うち法人会員1社、休会4名含む)となった。

6. 日本学術会議・文部科学省関係

- ・芹澤日本学術会議会員より、行政改革の一環として見直しの対象となっている日本学術会議の今後について報告があった。

7. その他

- 『ニューズ・レター』第25号について

・12月中の発行を目指して編集作業に入ったが、各委員長に原稿執筆の依頼した。

会費の納入状況について

・2002年10月12日現在の納入率は58.4%で、例年をやや上回るペースであることが事務局より報告された。

その他

・理事長より、日本シミュレーション&ゲーミング学会から学会開催の後援依頼があったことが報告され、理事会はこれを承認した。

・谷理事より、各委員会の委員長の再選を認めるよう提案があったが、今後の検討課題とした。

・『選挙研究』の発行回数、WEB上での発行、刊行費用の見直しなどについて検討を行ったが、特にWEBジャーナルに関してはその形態や実現可能性について、河野事務局長の下、桑原理事、及び佐藤祐司会員（松阪大学）に具体的検討と次回理事会での説明を依頼した。

以上

（出席者）小林理事長、荒木、油川、池田、岩崎、加藤、河村、桑原、神江、田中、谷、中野、和田の各理事、平野監事、芹澤学術会議会員、オプザバーのS・リット会員、及び河野事務局長、今井、鬼塚、河崎の各幹事。